

# 利 用 上 の 注 意

## 1 調査の目的

この調査は、工業の実態を明らかにし、工業に関する施策の基礎資料を得ることを目的とする。

## 2 調査の根拠

統計法（昭和22年法律第18号）に基づく「指定統計調査」（指定統計第10号）であり、工業統計調査規則（昭和26年通商産業省令第81号）によって実施される。

なお、工業統計調査規則及び調査票様式を巻末に掲載している。

## 3 調査の期日

平成16年12月31日現在で実施した。

## 4 調査の範囲

日本標準産業分類（平成14年総務省告示第139号）に掲げる「大分類F一製造業」に属する事業所（国に属する事業所を除く）である。工業統計調査は、西暦末尾0、3、5、8年については全数調査を実施し、それ以外の年は従業者4人以上の事業所に該当する事業所を調査の対象としている。

## 5 調査の方法

従業者30人以上の事業所については「工業統計票甲」、従業者29人以下の事業所については「工業統計票乙」を用い、申告者（事業所の管理責任者）の自計申告により行っている。

## 6 主な集計項目と用語の説明

### (1) 事業所数

平成16年12月31日現在の数値

事業所とは、一般的に工場、製作所、製造所あるいは加工所などと呼ばれているような一区画を占めて主として製造又は加工を行っているものをいう。

### (2) 従業者数

平成16年12月31日現在の数値

従業者とは、常用労働者、個人事業主及び無給家族従業者との合計（臨時雇用者は除く）である。

#### ア 常用労働者

常用労働者とは、次のいずれかのものをいう。

(ア) 期間を決めず、又は1か月を超える期間を決めて雇われている者

(イ) 日々又は1か月以内の期間を限って雇われていた者のうち、11月と12月にそれぞれ18日以上雇われた者

(ウ) 人材派遣会社からの派遣従業者、他の企業からの出向従業者などで上記(ア)、(イ)に該当する者

(エ) 重役、理事などの役員のうち、常時勤務して毎月給与の支給を受けている者

(オ) 事業主の家族で、その事業所に働いている者のうち、常時勤務して毎月給与の支払を受けている者

- イ 個人事業主及び無給家族従業者  
業務に従事している個人事業主とその家族で無報酬で常時就業している者
  - ウ 臨時雇用者  
常用労働者以外の雇用者で、1か月以内の期間を定めて雇用されている者や日々雇用されている者
- (3) 常用労働者年間延人数  
常用労働者の1月から12月までの毎月末の現在数を合計したもの
- (4) 現金給与総額  
平成16年1年間に常用労働者に対し決まって支給された給与（基本給、諸手当等）及び特別に支払われた給与（期末賞与等）の額とその他の給与額の合計額で、税込みの金額（所得税、保険料、組合費等を差し引く前の金額）
- ア 常用労働者のうち雇用者に対する基本給、諸手当と特別に支払われた給与の額  
基本給、諸手当とは、労働契約、団体協約、給与規則などによってあらかじめ定められている給与条件によるもの、例えば、基本給のほか、家族手当、超過勤務手当、通勤手当、休業手当など  
特別に支払われた給与とは、一時的な理由により、特別に支払われた結婚手当、期末賞与など
  - イ その他の給与額  
常用労働者のうち雇用者に対する退職金や解雇予告手当と、出向・派遣受入者に対する支払額、臨時雇用者に対する給与、他企業へ出向させている者に対する負担額など
- (5) 原材料使用額等  
平成16年1年間における原材料使用額、燃料使用額、電力使用額及び委託生産費の合計額で、消費税額を含む。
- ア 原材料使用額  
主要原材料、補助材料、購入部分品、容器、包装材料、工場維持用の材料及び消耗品などの使用額をいい、原材料として使用した石炭、石油なども含む。また、下請工場などに原材料を支給して製造加工を行わせた場合には、支給した原材料の額も含む。
  - イ 燃料使用額  
生産段階での使用額であり、荷物運搬用及び暖房用の燃料等を含む。
  - ウ 電力使用額  
購入した電力の使用額をいい、自家発電は含まない。
  - エ 委託生産費  
原材料又は中間製品を他事業所に支給して製造又は加工を委託した場合、これに支払った加工賃をいう。
- (6) 製造品出荷額等  
平成16年1年間における製造品出荷額、加工賃収入額、修理料収入額、製造工程からでたくず及び廃物の出荷額及びその他の収入額の合計額で、消費税等の内国消費税額を含む。  
なお、品目別統計表は産業の格付けとは関係なく、当該品目を生産したすべての事業所が集計されているため、従業者4人以上の事業所に関する産業分類別の統計表とは一致しない。
- ア 製造品出荷額  
平成16年1年間に出荷した（同一企業の他の事業所への引渡しも含む。）製造品の工場出荷価額（船舶の修理料、製造工程から出たくず及び廃物の出荷額を含む。）

イ 加工賃収入額

平成16年1年間に他の所有に属する主要原材料によって製造し、あるいは他の所有に属する製品又は半製品に加工、処理を加え引き渡したものに対して、受け取った又は受け取るべき加工賃の額

ウ 修理料収入額

他人のものを修理して受け取った又は受け取るべき修理料の額

(7) 製造品在庫額、半製品、仕掛品の価額及び原材料、燃料の在庫額

事業所が所有するものを帳簿価額により記入したもの

(8) 有形固定資産

平成16年1年間における数値であり、帳簿価額による。

ア 取得額等には、土地、建物及び構築物（土木設備、建物附属設備を含む）、機械及び装置（附属設備を含む）、船舶・車両・運搬具・耐用年数1年以上の工具・器具・備品等の区分がある。

イ 建設仮勘定の増加額とは、この勘定の借方に加えられた額をいい、減少額とは、この勘定から他の勘定に振替えられた額をいう。

ウ 除却額とは、有形固定資産の売却、撤去、滅失及び同一企業に属する他の事業所への引き渡しなどの額をいう。

(9) リース契約による契約額及び支払額

リースとは、賃貸借契約であって、物件を使用する期間が1年を超え、契約期間中は原則として中途解約のできないものをいう。

リース契約額とは、新規に契約したリースのうち、平成16年1月から12月までにリース物件が納入、設置されて検収が完了し、物件借受書を交付した物件に対するリース物件の契約額で、消費税額を含む。

リース支払額とは、平成16年1月から12月までにリース物件使用料として実際に支払った月々のリース料の年間合計金額で、消費税額を含む。

7 計算項目の算式

(1) 生産額

製造品出荷額等＋（製造品年末在庫額－製造品年初在庫額）＋（半製品及び仕掛品年末価額－半製品及び仕掛品年初価額）

(2) 付加価値額

ア 従業者30人以上の事業所

製造品出荷額等＋（製造品年末在庫額－製造品年初在庫額）＋（半製品及び仕掛品年末価額－半製品及び仕掛品年初価額）－（消費税を除く内国消費税額＋推計消費税額）－原材料使用額等－減価償却額

イ 従業者4～29人の事業所

製造品出荷額等－（消費税を除く内国消費税額＋推計消費税額）－原材料使用額等

※ 平成13年調査より、従業者10～29人の事業所については、有形固定資産の調査を5年ごと（西暦末尾0，5年）とした。このことから、平成12年までの付加価値額は、従業者4～9人の事業所については粗付加価値額であり、平成13年以降の付加価値額は、従業者4～29人の事業所については粗付加価値額となっている。

(3) 粗付加価値額

製造品出荷額等－（消費税を除く内国消費税額＋推計消費税額）－原材料使用額等

(4) 付加価値率

[付加価値額／{生産額－（消費税を除く内国消費税額＋推計消費税額）}] × 100

- (5) 従業者1人当たり付加価値額  

$$\text{付加価値額} / \{ \text{常用労働者年間月平均数 (延べ常用労働者数} / 12) + \text{個人事業主及び無給家族従業者数} \}$$
- (6) 現金給与率  

$$[ \text{現金給与総額} / \{ \text{生産額} - ( \text{消費税を除く内国消費税額} + \text{推計消費税額} ) \} ] \times 100$$
- (7) 常用労働者のうち雇業者1人当たり現金給与額  

$$\text{常用労働者のうち雇業者に対する基本給, 諸手当と特別に支払われた給与の額} / \text{常用労働者のうち雇業者数}$$
- (8) 労働分配率  

$$( \text{現金給与総額} / \text{付加価値額} ) \times 100$$
- (9) 原材料率  

$$[ \text{原材料使用額等} / \{ \text{生産額} - ( \text{消費税を除く内国消費税額} + \text{推計消費税額} ) \} ] \times 100$$
- (10) 在庫率  

$$[ \text{年末在庫額} / \{ \text{生産額} - ( \text{消費税を除く内国消費税額} + \text{推計消費税額} ) \} ] \times 100$$
- (11) 有形固定資産投資総額  
 有形固定資産取得額 + 建設仮勘定の年間増減
- (12) 有形固定資産純投資額  
 有形固定資産投資総額 - 有形固定資産除却額 - 減価償却額
- (13) 資本装備率  

$$\text{有形固定資産年末現在高} / \text{常用労働者年間月平均数 (延べ常用労働者数} / 12)$$
- (14) 資本係数  

$$\text{有形固定資産年末現在高} / \{ \text{生産額} - ( \text{消費税を除く内国消費税額} + \text{推計消費税額} ) \}$$
- (15) 土地生産性  

$$\text{製造品出荷額等} / \text{敷地面積}$$
- ※ 内国消費税額とは、酒税、たばこ税、揮発油税、地方道路税の納付税額又は納付すべき税額の合計をいう。平成13年調査より、内国消費税額については消費税を除く調査としたことから、「推計消費税額」の算出にあたっては、直接輸出分を除いている。

## 8 記号及び注記

「-」は該当数値なし、「…」は不詳（未調査のため数値が得られないもの）、「0」は四捨五入による単位未満、「△」はマイナスの数値を表している。「x」は1又は2の事業所に関する数値で、これをそのまま掲げると個々の申告者の秘密が漏れるおそれがあるため秘匿した箇所であり、3以上の事業所に関する数値であっても、1又は2の事業所に関する数値が前後の関係から判明する箇所も秘匿とした。

## 9 その他の注意事項

- (1) 今回公表の数値は、後日経済産業省が公表する「工業統計表」の数値と相違する場合がある。
- (2) 表中の数値は四捨五入したため、内訳が合計に一致しないことがある。
- (3) 日本標準産業分類の改訂により、平成14年以降の数値は新分類で組替えている。  
 また、解析表及び統計表の平成13年以前の数値は旧分類による。なお、主な変更点は別表1（6ページ）のとおりである。
- (4) 調査期日（平成16年12月31日）以前に合併した内海町、新市町（現福山市）、佐伯町、吉和村（現廿日市市）、下蒲刈町（現呉市）、大崎町、東野町、木江町（現大崎上島町）、吉田町、八千代町、美土里町、高宮町、甲田町、向原町（現安芸高田市）、君田村、布野村、作木村、吉舎町、

三良坂町，(双三郡)三和町，甲奴町(現三次市)，川尻町(現呉市)，上下町(現府中市)，甲山町，世羅西町(現世羅町)，加計町，筒賀村，戸河内町(現安芸太田町)，江田島町，能美町，沖美町，大柿町(現江田島市)，油木町，神石町，豊松村，(神石郡)三和町(現神石高原町)については，平成15年の数値を合併後の新市町に置き換えて集計している。

(5) 調査期日(平成16年12月31日)以降に合併した沼隈町(現福山市)，芸北町，大朝町，千代田町，豊平町(現北広島町)，黒瀬町，福富町，豊栄町，河内町，安芸津町(現東広島市)，音戸町，倉橋町，蒲刈町，安浦町，豊浜町，豊町(現呉市)，本郷町，久井町，大和町(現三原市)，御調町，向島町(現尾道市)，東城町，西城町，口和町，高野町，比和町，総領町(現庄原市)，湯来町(現広島市)については，合併前の旧町で集計している。

(6) 地域別統計表は，「広域行政圏計画策定要綱」(平成12年3月制定)に基づき平成12年11月に決定した広域行政圏で算出した。広域行政圏別の区分は次のとおりである。

圏 域 名		構 成 市 町 名	
大 都 市 周 辺 地 域	広 島	広島市，府中町，海田町，熊野町，坂町	
	広 域 市 町 村 圏	広 島 西	大竹市，廿日市市，大野町，湯来町，宮島町
		呉	呉市，江田島市，音戸町，倉橋町，蒲刈町，安浦町，豊浜町，豊町
		芸 北	安芸高田市，芸北町，大朝町，千代田町，豊平町，安芸太田町
		広 島 中 央	竹原市，東広島市，黒瀬町，福富町，豊栄町，大和町，河内町，安芸津町，大崎上島町
		尾 三	三原市，尾道市，因島市，本郷町，瀬戸田町，御調町，久井町，向島町，世羅町
		福山・府中	福山市，府中市，沼隈町，神辺町，神石高原町
備 北	三次市，庄原市，総領町，西城町，東城町，口和町，高野町，比和町		

#### 10 問い合わせ先

広島県地域振興部管理総室経済統計室工業統計グループ

[〒730-8511 広島市中区基町10-52 TEL(082)513-2542 (ダイヤルイン)]

この内容については，次のインターネットでも情報提供をしていますので，御利用ください。

広島県のホームページアドレス <http://db1.pref.hiroshima.jp/toukei/index.html>

( 別 表 1 )

工業統計調査の産業分類，品目番号の改訂について

(主な変更点)

- ① 「もやし製造業」は大分類「A－農業」へ、「新聞業及び出版業」は、大分類「H－情報通信業」と、製造業以外に移行した。
- ② 「電気機械器具製造業」は「電気機械器具製造業」、「情報通信機械器具製造業」、「電子部品・デバイス製造業」へ3分割された。
- ③ 「武器製造業」は「その他の製造業」へ統合された。

旧 分 類			新 分 類	
産 業 中分類 番 号	産 業 名 称		産 業 中分類 番 号	産 業 名 称
12	食料品製造業	→ もやしは「農 業」へ	09	食料品製造業
13	飲料・たばこ・飼料製造業		10	飲料・たばこ・飼料製造業
14	繊維工業		11	繊維工業
15	衣服・その他の繊維製品製造業		12	衣服・その他の繊維製品製造業
16	木材・木製品製造業		13	木材・木製品製造業
17	家具・装備品製造業		14	家具・装備品製造業
18	パルプ・紙・紙加工品製造業	→ 新聞業，出版 業は「情報・ 通信業」へ	15	パルプ・紙・紙加工品製造業
19	出版・印刷・同関連産業		<b>16</b>	<b>印刷・同関連業</b>
20	化学工業		17	化学工業
21	石油製品・石炭製品製造業		18	石油製品・石炭製品製造業
22	プラスチック製品製造業	→ 電気機械器具 製造業を3分 割	19	プラスチック製品製造業
23	ゴム製品製造業		20	ゴム製品製造業
24	なめし革・同製品・毛皮製造業		21	なめし革・同製品・毛皮製造業
25	窯業・土石製品製造業		22	窯業・土石製品製造業
26	鉄鋼業		23	鉄鋼業
27	非鉄金属製造業		24	非鉄金属製造業
28	金属製品製造業		25	金属製品製造業
29	一般機械器具製造業		26	一般機械器具製造業
30	電気機械器具製造業		<b>27</b>	<b>電気機械器具製造業</b>
31	輸送用機械器具製造業		<b>28</b>	<b>通信機械器具製造業</b>
32	精密機械器具製造業	<b>29</b>	<b>電子部品・デバイス製造業</b>	
33	武器製造業	→ 武器 製造業をその 他の製造業へ 統合	30	輸送用機械器具製造業
34	その他の製造業		31	精密機械器具製造業
			32	その他の製造業

( 別 表 2 )

産業中分類略称及び産業3類型一覧

産業分類 番号	産業中分類	略 称	産業3類型
09	食料品製造業	食料品	生活関連型産業
10	飲料・たばこ・飼料製造業	飲料・たばこ	生活関連型産業
11	繊維工業（衣服・その他の繊維製品を除く）	繊維	生活関連型産業
12	衣服・その他の繊維製品製造業	衣服	生活関連型産業
13	木材・木製品製造業（家具を除く）	木材・木製品	素材関連型産業
14	家具・装備品製造業	家具・装備品	生活関連型産業
15	パルプ・紙・紙加工品製造業	紙・紙加工品	素材関連型産業
16	印刷・同関連業	印刷	生活関連型産業
17	化学工業	化学	素材関連型産業
18	石油製品・石炭製品製造業	石油・石炭	素材関連型産業
19	プラスチック製品製造業	プラスチック	素材関連型産業
20	ゴム製品製造業	ゴム	素材関連型産業
21	なめし革・同製品・毛皮製造業	なめし革	生活関連型産業
22	窯業・土石製品製造業	窯業・土石	素材関連型産業
23	鉄鋼業	鉄鋼	素材関連型産業
24	非鉄金属製造業	非鉄金属	素材関連型産業
25	金属製品製造業	金属製品	素材関連型産業
26	一般機械器具製造業	一般機械	機械関連型産業
27	電気機械器具製造業	電気機械	機械関連型産業
28	情報通信機械器具製造業	情報通信機械	機械関連型産業
29	電子部品・デバイス製造業	電子部品	機械関連型産業
30	輸送用機械器具製造業	輸送用機械	機械関連型産業
31	精密機械器具製造業	精密機械	機械関連型産業
32	その他の製造業	その他	生活関連型産業